

2017 年 6 月 7 日

Press Release

報道関係・教育担当記者 各位

南山大学大学院社会科学研究所経済学専攻  
第 27 回「イブニング・セミナー経済@南山」  
および社会人入試説明会のお知らせ

平素は、本学の広報活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記のとおり講演会を開催いたします。つきましては、取材、報道等におきましてお取り扱っていただき、広く一般に周知いただければ幸いです。なお、恐れ入りますが、取材にお越しいただける場合は、事前に南山大学社会科学研究所までご連絡をお願いいたします。

記

日 時：2017 年 7 月 7 日（金） 18:30～20:30

場 所：愛知県産業労働センターウインクあいち 13 階

「特別会議室 1303 号室」（中村区名駅 4-4-38）

講演者：焼田 党（南山大学 経済学部/社会科学研究所教授）

『日本の巨額な政府債務残高がもたらす将来の生活への影響を考える』

大きく膨らんだ日本の政府債務残高が問題視されるようになって久しい。

5 月に財務省から発表された平成 29 年 3 月末の国債および借入金残高は約 1071.6 兆円（うち内国債 934.9 兆円）で、GDP の約 2 倍の大きさである。この大きな「国の借金」にもかかわらず、日本の景気状況は緩やかに改善しているとの判断がなされている。

「国」は借金でつぶれないのか。借金にもかかわらず、われわれは普通に生活できている状況が続けられるのか。また、中・長期的に借金を減らすことができるのか。これらの問題を、経済学の理論の観点から考え、今後考えられる政策と国民生活の行く末を見通してみる。

また、講演会終了後、大学院社会人入試説明会を行います。

聴講料：無料（申し込み不要）

問い合わせ：南山大学大学院社会科学研究所事務室

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

Phone: 052-832-4341 (直通) Fax: 052-835-1444

以上